

科目名	観光地理論	科目コード	1222	単位数	3
担当者名	池ノ上 真一	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

日本人の出国者数は2019年度には2,008万600人に達しています。当科目は海外の各地域を対象として地理、観光資源について学習します。また、各地における観光形態の変遷や近年の観光動向、社会や文化、歴史の実態について習得します。さらに、総合旅行業務取扱管理者を取得するための基礎的な知識を身につけるとともに、観光資源の発掘や新たな開発等に関する諸問題について絶えず関心を持ち、観光立国を目指す日本に必要とされる能力の醸成を図ります。

●到達目標

(1)世界各地の自然環境および観光資源の地域性や魅力を理解できるようになる。(2)各地域の観光形態の変遷や今後あるべき姿について意見を持つことができるようになる。(3)総合旅行業務取扱管理者試験に出題される「海外旅行実務：海外観光地理」に関する知識を理解することができるようになる。

●授業内容

- 1週目 アジアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（中国）
- 2週目 アジアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（韓国）
- 3週目 アジアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（台湾、香港、マカオ）
- 4週目 アジアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（東南アジア、南アジア）
- 5週目 ヨーロッパの地勢、観光地理、観光形態の特徴（北ヨーロッパ）
- 6週目 ヨーロッパの地勢、観光地理、観光形態の特徴（南ヨーロッパ） + 定期試験
- 7週目 ヨーロッパの地勢、観光地理、観光形態の特徴（西ヨーロッパ）
- 8週目 ヨーロッパの地勢、観光地理、観光形態の特徴（東ヨーロッパ、ロシア連邦）
- 9週目 アメリカの地勢、観光地理、観光形態の特徴（アメリカ合衆国）
- 10週目 アメリカの地勢、観光地理、観光形態の特徴（カナダ、アメリカ合衆国・アラスカ州）
- 11週目 アメリカの地勢、観光地理、観光形態の特徴（中央アメリカ諸国、カリブ海諸国） + 定期試験
- 12週目 アメリカの地勢、観光地理、観光形態の特徴（南アメリカ諸国）
- 13週目 オセアニアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（オーストラリア）
- 14週目 オセアニアの地勢、観光地理、観光形態の特徴（ニュージーランド、太平洋島嶼国）
- 15週目 中近東・アフリカ諸国の地勢、観光地理、観光形態の特徴、総合旅行業務取扱管理者に関わる試験問題のポイント + 定期試験
- 16週目 全体の補足説明、定期試験のフィードバック(テスト返却、講評)を行います。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・（予習）授業前に教材をCoursePower上に公開します。また前授業の課題等を整理し次の授業でのディスカッションやワークに生かすための準備をすること。（90分程度）
- ・（復習）授業後には、講義内容を確認し課題に取り組むこと。（90分程度）

●成績評価の方法・基準

- ・成績評価は70%以上授業に出席した履修者を対象とし、毎回実施する発表会の結果を主とし、その他の課題や授業への参加度を考慮して判定します。

●履修上の留意点

- ・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
- ・グループワーク等のアクティブラーニングが中心となります。そのため、グループに迷惑をかけないよう欠席しないで受講してください。

●課題に対するフィードバックの方法

- ・課題や発表会に対し適宜フィードバックをします。

●テキスト

- ・授業時に自作の教材(プリント)を配布します。また、CoursePower上にも自作の教材と副教材を公開します。

●参考書

- 適宜、授業内で紹介します。

●更新日付

2022/03/08 11:13